

8/24 MON イングリッシュ・サマー・ファン

コミュニティセンターみずしろで、小学4～6年生を対象として、イングリッシュ・サマー・ファンが開催されました。このイベントは、外国語指導助手(ALT)と一緒に4つのブースを回りながら、楽しく英語に親しむことを目的に実施したもので、計63人の児童が参加。ペット・ロックのブースでは、児童らがALTとジェスチャーを交えながら、英語でコミュニケーションを取り、それぞれ描きたいものを石に描きました。最後には、出来上がった作品を見せながら、楽しそうに英語で説明する姿が見られました。



8/25 TUE イングリッシュ・ファン～中学生～

産業文化会館、忍城址などで、中学生を対象としたイングリッシュ・ファンが開催されました。このイベントは、英語で与えられたミッションに、外国語指導助手(ALT)と一緒に挑戦し、最後にグループ発表するもの。

郷土博物館では、生徒とALTが協力して、発表に必要な忍城、足袋、埴輪などの郷土に関する情報を調べ、分かったことや発見したことをどうまとめるかを英語で相談する姿が見られました。

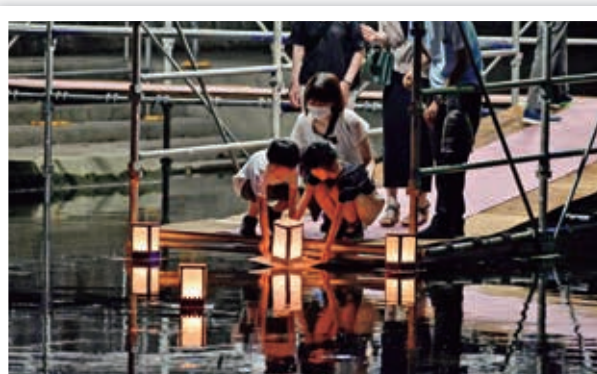
また、グループ発表では、調べた内容の他、行田の魅力を英語で伝えるなど改めて行田を学ぶ機会になりました。



8/16 SUN 忍川とうろう流し

行田市駅北側の翔栄橋周辺で忍川とうろう流しが開催されました。会場では、とうろう流しに先立って供養式典が執り行われ、読経が響く中、献香し、静かに祈りをささげました。

参加者は、供養や家内安全など、それぞれの願いや思いを託したとうろうを手に川辺に向かい、一つずつ丁寧に忍川へと送り出しました。川面に浮かんだとうろうは、柔らかな光を放ちながら下流へと進み、そのゆっくりと遠ざかる行方をいつまでも見つめていました。



8/18 TUE 中学生一日市長体験

子どもたちが市政への関心や理解、郷土愛を深めることを目的に実施している中学生一日市長体験に、市内在住の中学生6人が参加しました。

当日は、行田邦子市長のサポートを受けながら、各部長からの報告を受ける「庁議」、議場で議員の質問に答える「議会答弁」、市内公共施設の現場視察などを行いました。

市長室での公務体験では、各部署からの事業実施の提案に対して、「必要な事業か」「金額は適正か」などさまざまな観点から事業の実施可否を判断し、まちの将来を見据えて判断していく難しさを感じながらも、貴重な経験を楽しんでいました。



9/6 SUN さいたまブロンコス バスケットボール教室in行田

総合体育館で、Bリーグ所属のさいたまブロンコスによるバスケットボール教室が開催されました。小・中学生約100人が参加し、川邊亮平選手、島崎輝選手、波多智也普及育成コーチから直接指導を受けました。

教室では、ボールを強く床に突くドリブルや、相手の膝をタッチするゲームなどに挑戦。さらに、6つのゴールを使い、いかに早くレイアップシュートを決められるかを競うメニューなども行われました。プロの技を間近で学び、バスケットボールの魅力を体感する貴重な機会となりました。



8/23 SUN 産業文化会館 バックステージツアー

産業文化会館で「バックステージツアー」が開催されました。

これは、客席からは見えない舞台の仕組みや仕事を体験するもの。幕を昇降させる綱元では幕とおもりの重さをつり合わせて動かす仕組みを知り、音響卓ではずらりと並びレバーを使い、音量や音の間こえる方向を細かく調整。また照明では、スポットライトを狙った場所に当てる難しさや、異なる色の光を重ねて色をつくる繊細さを知りました。普段何気なく見ている舞台が、こうした細かな作業とスタッフの技術によって支えられていることを実感する一日となりました。

